

企画・執筆者紹介 (五十音順)

芦田敦子 あしだ・あつこ

信州大学医学部 皮膚科学教室

1963年岐阜県生まれ。1985年早稲田大学卒。1995年信州大学卒。同年皮膚科入局。2009年大学院博士課程修了。2010年から助教。

専門はメラノーマの遺伝子異常、抗がん剤による皮膚障害。

天野晃滋 あまの・こうじ

大阪市立総合医療センター 緩和医療科

1973年生まれ。1998年大阪大学医学部医学科卒。

専門は緩和ケア、サポーティブケア、がん悪液質治療。

池永昌之 いけなが・まさゆき

淀川キリスト教病院 緩和医療内科 部長

1990年3月、宮崎医科大学(現宮崎大学)医学部医学科卒、同年6月淀川キリスト教病院内科勤務。1993年10月同病院ホスピス科、2010年4月同病院ホスピス部長。2012年11月淀川キリスト教病院ホスピス・こどもホスピス病院副院長、2015年4月淀川キリスト教病院緩和医療内科部長、現在に在る。

日本緩和医療学会認定緩和医療専門医、日本緩和医療学会 鎮静ガイドライン改訂WPG員長。

市原 真 いちはら・しん

札幌厚生病院 病理診断科

1978年北海道生まれ。2003年北海道大学医学部卒。2007年北海道大学大学院医学研究科分子細胞病理学博士課程修了。国立がん研究センター中央病院病理部にて半年間の任意研修後、2007年10月より札幌厚生病院病理診断科。病理専門医、臨床検査管理医、細胞診指導医。

Twitter:@Dr_yandel

上村恵一 うへむら・けいいち

独立行政法人国立病院機構北海道医療センター 精神科・緩和ケア室

1975年北海道稚内市生まれ。2001年旭川医科大学卒、同年北海道大学精神医学講座入局。北海道大学病院、北海道がんセンターでの研修を経て2003年、市立札幌病院精神神経科。2012年、同精神医療センター副医長。2018年より精神科医長、緩和ケア室長。専門はリエゾン精神医学、精神腫瘍学、臨床精神神経薬理学。

これまでの著作に、『がん患者の精神症状はこう診る 向精神薬はこう使う』(じほう、2015年)責任編集など。

Twitter:@brain_conductor

大場 大 おおば・まさる

東京オンコロジーセンター 代表

順天堂大学医学部附属順天堂医院 肝胆膵外科 非常勤講師

1972年石川県生まれ。1999年金沢大学卒。同年、金沢大学第二外科学教室入局。2007年、金沢医科大学附属病院消化器外科助教。2009年、がん研究有明病院を経て2011年、東京大学医学部附属病院肝胆膵外科助教。2015年、東京オンコロジーセンターを設立。2019年より、順天堂大学医学部附属順天堂医院肝胆膵外科非常勤講師を務める。

専門は腫瘍外科学、腫瘍内科学、消化器病全般、がん情報教育。

これまでの著作に、『がんと賢い闘い方「近藤誠理論」徹底批判』(新潮新書、2015年)、『東大病院を辞めたから言える「がん」の話』(PHP新書、2015年)、『大場先生、がん治療の本当の話を教えてください』(扶桑社、2016年)など。

春日武彦 かすが・たけひこ

成仁病院 精神科 院長

1951年京都府生まれ。1981年日本医科大学卒。1981～1987年、日本医科大学産婦人科教室助手。1987年より日本医科大学精神医学教室へ移る。2003年より都立松沢病院精神科部長、2010年より成人病院顧問。専門は精神病理。精神保健指定医、精神科専門医、医学博士。

これまでの著作に、『援助者必携 はじめての精神科 第2版』(医学書院、2011年)、『「治らない」時代の医療者心得帳』(医学書院、2007年)、『鬱病精神科医占いにさがる』(太田出版、2015年)など多数。

勝俣範之 かつまた・のりゆき

日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授

1963年山梨県生まれ。1988年富山医薬大学卒。徳州会病院での研修を経て1992年、国立がんセンター中央病院内科レジデント。その後、同センター専門修練医、第一領域外來部乳腺科医員を経て2003年、同薬物療法部薬物療法室医長。2004年ハーバード大学公衆衛生院留学。2010年、国立がん研究センター中央病院乳腺科・腫瘍内科外來医長、2011年より現職。専門は腫瘍内科学、がん支持療法。

これまでの著作に、『がん診療レジデントマニュアル』(医学書院、初版～第5版)、『誰も教えてくれなかった婦人科がん薬物療法』(メジカルビュー社、2015年)、『がん治療まるわかりBOOK』(照林社、2015年)、『「抗がん剤は効かない」の罪』(毎日新聞社、2014年)など。

川島夏希 かわしま・なつき

筑波メディカルセンター病院 緩和医療科

1985年千葉県柏市生まれ。2011年筑波大学医学専門学群医学類卒。筑波大学附属病院初期研修、内科研修を経て、2014年より筑波メディカルセンター病院緩和医療科にて後期研修中。

國頭英夫 くにとう・ひでお

日本赤十字社医療センター 化学療法科 部長

1961年鳥取県生まれ。1986年東京大学医学部卒。国立がんセンター中央病院内科などを経て現職。日本臨床腫瘍学会協議員・日本肺癌学会評議員。

これまでの著作に里見清一名義で『偽善の医療』(2009年)、『衆愚の病理』(2013年)、『医師の一分』(2014年、すべて新潮新書)、『誰も教えてくれなかった癌臨床試験の正しい解釈』(中外医学社、2011年)など多数。

栗原幸江 くりはら・ゆきえ

がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科

1963年東京生まれ。1994年コロンビア大学大学院修士課程修了(M.S.S.W.)。NY州認定ソーシャルワーカーおよびマッサージセラピスト。マウントサイナイホスピタル、カルバリーホスピタル勤務を通じて心理療法や家族療法などの実践を積み、2002年帰国。静岡がんセンター緩和医療科開院時から多職種チーム医療に関わる。2012年がん・感染症センター都立駒込病院緩和ケア科、2016年より現職。緩和ケア病棟と地域における日々の臨床に加え、医療機関や大学などでの教育に携わる。

専門は緩和ケア、グリーフケア、セルフケア／スタッフケア。

公平 誠 こうたいら・まこと

公平病院 腫瘍内科

1979年埼玉県生まれ。2004年に千葉大学を卒業し、千葉大学などでの研修を経て、2006年がん研有明病院化学療法科レジデント。2010年に国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科がん専門修練医、2011年～同医員、2014年～希少がんセンター兼任、2016年より医療法人慈公会公平病院病院長。2017年千葉大学大学院卒業。専門は腫瘍内科であり、Community Oncologistとして活動している。これまでの著作に『新臨床内科学』（医学書院、2009年）、『What's New in Oncology』（南江堂、2015年）など。

坂下明大 さかした・あきひろ

神戸大学医学部附属病院 腫瘍センター 特定助教

1974年兵庫県伊丹市生まれ。2000年神戸大学卒。神戸大学、神戸労災病院の内科で初期研修。2003年、兵庫県立成人病センター呼吸器内科専攻医。2004年より神戸大学大学院医学研究科に入学し、2008年に博士（医学）を取得。2009年より神戸大学医学部附属病院腫瘍センター緩和ケアチーム専従医師として従事。2015年兵庫県立加古川医療センター緩和ケア内科医長。2017年より現職。専門は緩和医療、呼吸器内科。日本緩和医療学会では、教育・研修委員会、専門医認定・育成委員会、専門的・横断的緩和ケア推進委員会に所属。

櫻井宏樹 さくらい・ひろき

がん研有明病院 緩和治療科

1977年宮城県生まれ。2001年東北大学卒。聖路加国際病院救命センターでの研修を経て、2004年東北大学整形外科および関連病院で勤務。2008～2014年聖路加国際病院緩和ケア科、うち2010年アルバータ大学地域緩和ケアプログラムクリニカルフェローを経て、2014年より現職。専門は緩和医療。築地での食材買い出しと、それをつまみに一杯を呑みながら、子どもに管を巻くことを人生の至福として過ごしている。

清水 研 しみず・けん

国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 科長

1971年石川県生まれ。1998年金沢大学卒。東京都立荏原病院での初期研修後、国立精神・神経センター武蔵病院精神科、東京都立豊島病院精神科にて精神科一般の研修を積む。2003年より国立がんセンター東病院精神科レジデントとなり、以降は精神腫瘍学を専門とし、がん患者およびその家族の診療に専心している。2012年より現職。『人生でほんとうに大切なこと』（稲垣麻由美著、KADOKAWA、2017年）に清水先生として登場。

白波瀬丈一郎 しらはせ・じょういちろう

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 特任准教授

1960年京都府生まれ。1986年慶應義塾大学卒。卒後、慶應義塾大学病院にて研修を経て、東京武蔵野病院、丘の上病院、慈雲堂内科病院に勤務。1996年慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室助手。2003年同医学部専任講師。2014年より現職。専門は力動精神医学、精神分析学。

鈴木 梢 すずき・こずえ

がん・感染症センター都立駒込病院 緩和ケア科

1980年宮城県生まれ。2006年福島県立医科大学卒。横浜市立みなと赤十字病院で初期研修・後期研修を経て2011年より現職。2014年には1年間現職を離れてカナダ・米国の複数の施設で緩和ケア、統合医療を研修。専門は緩和ケア。リンパ浮腫療法士の資格も有する。

住谷昌彦 すみたに・まさひこ

東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部/麻酔科・痛みセンター

1975年兵庫県生まれ。2000年筑波大学卒。大阪大学医学部附属病院での麻酔科研修、大阪大学大学院（医学博士取得）、2006年同院疼痛医療センターの設立を経て、2008年より東京大学医学部附属病院麻酔科・痛みセンター助教を経て准教授。

2012年同院医療機器管理部・部長（講師）、2014年より現職。

専門は疼痛医学、緩和医療学、麻酔科学、認知神経科学。

日本ペインクリニック学会神経障害性疼痛薬物療法ガイドライン、など。

日本疼痛学会（2016～理事）、日本医療機器学会（2017～理事）、日本ペインクリニック学会（2016～学術委員会）、国際疼痛学会IASP（2017～Chapter & Membership Committee）、IASP CRPS分科会（2016～Scientific Committee）。

関本 剛 せきもと・こう

ホームホスピス関本クリニック 院長

1976年兵庫県神戸市生まれ。2001年関西医科大学卒、関西医科大学附属病院での内科研修を経て2002年消化器肝臓内科へ入局。その後市中病院（消化器内科 医員）、大学病院勤務（消化器肝臓内科 助教）を経て、2012年より六甲病院で3年間、緩和ケア病棟専従医として勤務。2015年より関本クリニックで副院長として勤務。2018年より関本クリニック院長となり現在にいたる。専門は緩和ケア内科、消化器肝臓内科、消化器がんの化学療法と支持療法。

これまでの著作に、（いずれも分担執筆）『続 エビデンスで解決！緩和医療ケースファイル』（南江堂、2016年）、『癌患者の治療抵抗性の苦痛と鎮静に関する基本的な考え方の手引き 2018年版』（金原出版、2018年）。

日本緩和医療学会 平成30年度緩和ケア普及啓発WPG（Working Practitioner Group）員、日本緩和医療学会 がん疼痛の薬物療法に関するガイドライン改訂WPG員。

鷹津 英 たかつ・はな

甲南病院 緩和ケア内科

1987年兵庫県生まれ。2013年佐賀大学卒。神戸大学医学部附属病院での研修を経て、2015年より「緩和ケアをサブスペシャリティとした神戸・明石・家庭医養成プログラム」に所属し、家庭医療研修（内科・小児科・緩和ケア・在宅医療研修）を行なった。2018年、神戸大学医学部附属病院緩和支援診療科医員、緩和ケアチーム専従医師を経て、2019年より現職。専門は家庭医療、緩和医療。

田上恵太 たがみ・けいた

東北大学大学院 医学系研究科 緩和医療学分野

1981年生まれ、仙台育ち。2008年関西医科大学を卒業、東北労災病院での初期研修～腫瘍内科を経て、2012年国立がん研究センター中央病院緩和医療科レジデント。その後、2014年より国立がん研究センター東病院緩和医療科レジデントを経て、2016同院緩和医療科医員。2017年4月より現職。ほか、岡部医院仙台、やまと在宅診療所登米でも勤務。日本緩和医療学会専門医。

論文として、Tagami K, et al. Breakthrough Cancer Pain Influences General Activities and Pain Management: A Comparison of Patients with and without Breakthrough Cancer Pain. J Palliat Med 2018;21:1636-1640、Tagami K, et al. The atypical antipsychotic, olanzapine, potentiates ghrelin-induced receptor signaling: An in vitro study with cells expressing cloned human growth hormone secretagogue receptor. Neuropeptides 2016;58:93-101.、ほか。今後がん疼痛、鎮痛補助薬の研究、緩和ケアに関するアウトリーチ活動を積極的に行なっていく。

西 智弘 にし・ともひろ

川崎市立井田病院 かわさき総合ケアセンター 腫瘍内科／緩和ケア内科
1980年北海道生まれ。2005年北海道大学卒。室蘭日鋼記念病院で家庭医療を中心に初期研修後、川崎市立井田病院で総合内科／緩和ケアを研修。その後2009年から栃木県立がんセンターにて腫瘍内科を研修。2012年から現職。専門は、緩和ケア、腫瘍内科学。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。
Twitter: @tonishi0610

葉山達也 はやま・たつや

日本大学医学部附属板橋病院 薬剤部
1980年東京都生まれ。2002年日本大学卒。日本大学大学院薬学研究科博士前期課程(中退)を経て2003年、日本大学医学部附属板橋病院薬剤部に入職。その後、2008年日本大学大学院薬学部研究科博士後期課程を経て2011年に博士(薬学)を取得。同時に日本大学薬学部客員研究員を兼任。2015年に薬剤部主任。現在にいたる。がん指導薬剤師、がん専門薬剤師およびがん薬物療法認定薬剤師。
著作として、『がん薬物療法副作用管理マニュアル』(医学書院、2018年)など。

平本秀二 ひらもと・しゅうじ

三菱京都病院 腫瘍内科・緩和ケア内科
1975年広島県生まれ。2003年大阪市立大学卒。洛和会音羽病院での研修を経て2008年大津赤十字病院消化器科医員、2011年三菱京都病院腫瘍内科医員、2013年国立がん研究センター中央病院消化管内科レジデント、2014年三菱京都病院腫瘍内科・緩和ケア内科医長より現職。
専門は腫瘍内科、緩和ケアで主な資格は日本内科学会総合内科専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本緩和医療学会緩和専門医。ESMO designated centers of integrated Oncology and Palliative Care of the Corresponding Physician。
これまでの著作に『ガイドラインには載っていない 消化管がん Practical Treatment』(メジカルビュー社、2014年)の分担執筆、『胃と腸』51巻3号: 知っておきたいまれな大腸悪性腫瘍【内分泌細胞癌】など。

廣橋 猛 ひろはし・たけし

永寿総合病院 がん診療支援・緩和ケアセンター長
2005年東海大医学部卒。三井記念病院内科などで研修後、緩和ケア医を志し、2009年亀田総合病院疼痛・緩和ケア科、2011年三井記念病院緩和ケア科に勤務。2014年2月から現職。病院でも在宅でも切れ目なく緩和ケアを提供することを信条に東京下町で病棟・在宅と2つの場の緩和医療を実践している。『二刀流の緩和ケア医 廣橋猛オフィシャルサイト』ではがん医療や終末期医療、在宅ケアの現状や問題点をつづる。
これまでの著作に、『素敵な臨終 後悔しない、大切な人の送りかた』(PHP新書、2018年)、『どう診る!? がん性疼痛: 二刀流の緩和ケア医が教える、病院でも在宅でも使える緩和医療薬処方のコツ』(メディカ出版、2017年)など。

福永暁子 ふくなが・あきこ

聖隷浜松病院 歯科
1975年徳島県生まれ。2000年東京医科歯科大学歯学部卒。2004年同大学院医歯学総合研究科口腔老化制御学講座修了。2005年より聖隷三方原病院リハビリテーション科歯科にて勤務。2006年より聖隷浜松病院歯科にて勤務。現在にいたる。
専門は障害者歯科、高齢者歯科。有病者の支持療法としての歯科診療に従事。日本障害者歯科学会専門医・認定医、日本老年歯科医学会認定医、日本静脈経腸学会認定歯科医。

松尾直樹 まつお・なおき

外旭川病院 ホスピス
1971年岩手県盛岡市生まれ。1996年秋田大学医学部卒。秋田県成人病医療センター消化器内科での研修を経て、2001年埼玉県立がんセンター緩和ケア科医員。2007年同センター緩和ケア病棟医長、2012年より現職。2012年より日本緩和医療学会緩和医療専門医。
専門は緩和医療学。日本緩和医療学会消化器症状ガイドライン作業部会作業部員(～2018)、日本緩和医療学会オンラインジャーナル編集委員(～2018)、日本緩和医療学会がん疼痛薬物療法ガイドライン改訂作業部会作業部員(2018～)。日本死の臨床研究会編集委員。

元雄良治 もとお・よしはる

金沢医科大学 腫瘍内科学 主任教授
1955年石川県小松市生まれ。1980年東京医科歯科大学卒。同年金沢大学第1内科入局。1984年米国テキサス州ダラス・ワドレー分子医学研究所研究員、1988年金沢大学がん研究所腫瘍内科助手、1992年同講師、2002年フランス・マルセイユINSERM U1068(文科省短期在外研究員)、2003年同助教授、2005年より現職。専門は腫瘍内科学、消化器内科学、腫瘍細胞生物学、漢方医学。
これまでの著作に、『全人的がん医療: がんプロフェッショナルを目指して』(じほう、2007年)、『はじめの一步は絵で学ぶ: 腫瘍学: 知っておきたいがんの知識とケア』(じほう、2015年)、『まるごとわかる! がん』(南山堂、2017年)などがある。

山川 宣 やまかわ・せん

神鋼記念病院 緩和治療科
2000年信州大学医学部卒。東京通信病院(内科系・消化器内科)を経て、東京大学医学部附属病院放射線科(緩和ケア病床含む)、聖路加国際病院緩和ケア病棟、六甲病院緩和ケア病棟、神戸医療センター緩和ケア内科を経て、現職。
専門は緩和治療、せん妄対策。
これまでの著作に、『せん妄対策 成功への道しるべ』(学研メディカル秀潤社、2017年)など。

吉田健史 よしだ・たけし

近畿大学病院がんセンター／緩和ケアセンター・腫瘍内科兼務 講師
1977年鳥取県米子市生まれ。2003年近畿大学医学部卒。近畿大学腫瘍内科へ入局後、近畿大学病院および国立病院機構南和歌山医療センターで初期研修。2009年近畿大学大学院にて医学博士取得後、米国フロリダ州モフィット癌センターへ博士研究員として留学。2012年に帰国後、近畿大学腫瘍内科助教を経て、2014年より現職。専門は頭頸部がん・肺がん・消化器がんを中心とした固形がんの化学療法と緩和ケア。
これまでの著作に、『がん治療のための緩和ケアハンドブック』(羊土社、2017年)。日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本緩和医療学会緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了。